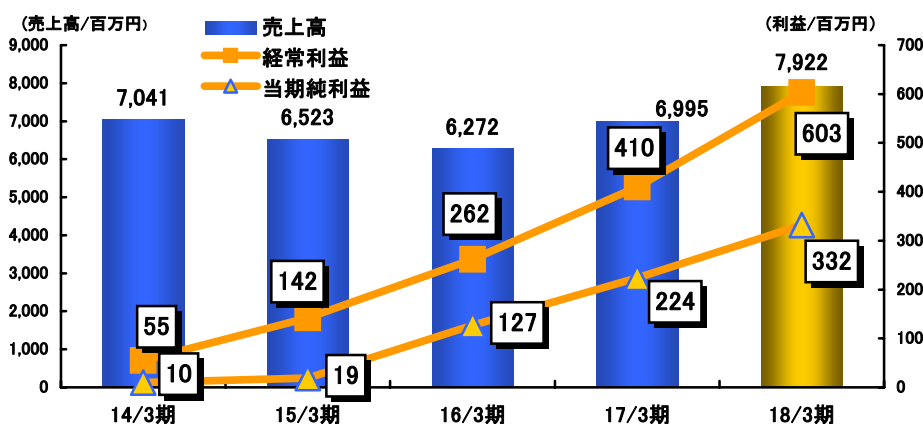


皆様、ソフトクリエイイトのマンスリー・ニュースをお読み頂きありがとうございます。今月号は 9 日に発表致しました、平成 18 年 3 月期業績の概況に関するご報告を中心に、当社の最新の活動をお知らせ致します。

1. 決算報告

(1) 平成 18 年 3 月期業績確定

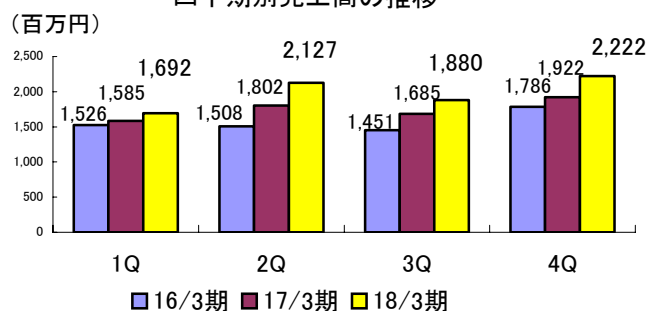
平成 18 年 3 月期の決算が確定いたしました。売上高 7,922 百万円、経常利益 603 百万円、当期純利益 332 百万円となり、平成 17 年 3 月期と比較し増収増益の好業績で終わることができました。



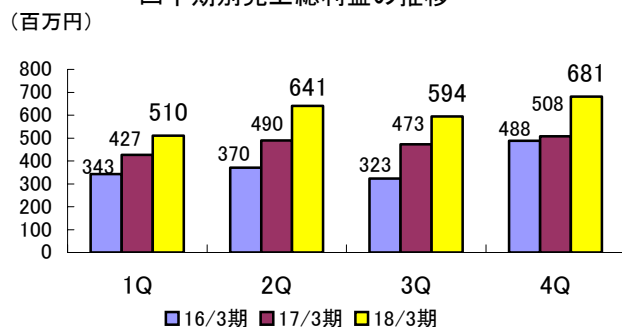
	17/3 期実績	18/3 期実績	対前年比	18/3 期計画	対計画比
売上高	6,995	7,922	+13.3%	7,639	+3.7%
営業利益	405	612	+50.9%	594	+3.0%
経常利益	410	603	+46.9%	585	+3.1%
当期純利益	224	332	+48.3%	324	+2.8%

※平成 18/3 期計画は中間期に上方修正後の数値となっております。

四半期別売上高の推移



四半期別売上総利益の推移



(2) 当期の業績状況

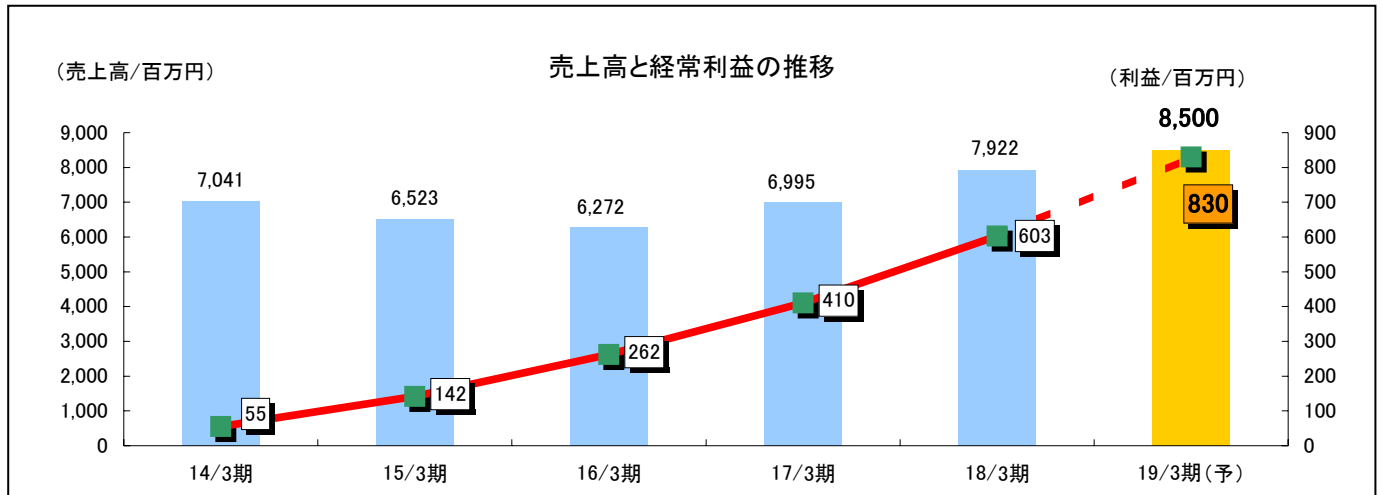
平成 18 年 3 月期の好調な業績の要因としては、プロダクト系 SI サービスを中核とするシステムインテグレーション事業の伸長があります。また、EC 市場の拡大を背景として、「ecbeing」の販売が順調に拡大し、プロダクト系 SI サービス売上高は前期比 70.8%増となりました。その結果、プロダクト系 SI サービスを含むシステムインテグレーション事業売上全体では、前期比 31.5%増と大幅な伸長となりました。

また、平成 18 年 3 月期のシステムインテグレーション事業の売上高構成比は 60.7%（前年 52.2%）と高まり、全社売上総利益率は 30.6%と前年比で 3.4 ポイント向上しております。

一方、新卒者を始めとして積極的な採用を行い、人件費など販管費が増えたものの、売上総利益の増加が経費増を吸収し、営業利益は前期比 50.9%増の 612 百万円となりました。また、営業外費用においては、株式上場費用が発生したものの、経常利益は前期比 46.9%増の 603 百万円となり、当期純利益は前期比 48.3%増の 332 百万円と好業績となりました。

2. 平成19年3月期業績予想について

平成19年3月期業績予想は、EC市場の拡大を背景として、「ecbeing」の販売が引き続き順調に拡大することと併せ、セキュリティプロダクト「L2Blocker」の販売が売上拡大に寄与するなど、プロダクト系S Iサービスが売上の伸長を見込み、**通期では、売上高は前期比7.3%増の8,500百万円、経常利益は前期比37.5増の830百万円を計画**しております。



3. IR活動スケジュール

今後のIR活動予定

5月16日(火) 13:30～日本証券アナリスト協会主催 機関投資家及び証券アナリスト向け会社説明会
(東京証券取引所ビル6F)

5月27日(土) 14:05～個人投資家向け会社説明会(東京 KDDI 大手町ビル2F)

http://www.starcapital.co.jp/japanese/private/program/060527_program.htm

6月29日(木) 定時株主総会(予定)

6月30日(金) 有価証券報告書提出(予定)

《会社説明会へご参加していただく皆様へのお知らせ》

総計 300 名様にDVDレコーダー・ポータブル防水DVDプレーヤー等が当たる！会社説明会ご参加者向けWチャンスプレゼントキャンペーン実施！

今後も投資家様向けの説明会を開催していく予定ですが、ご参加いただく皆様への感謝の気持ちと、当社の運営するインターネット通販サイト「特価COM」をご理解いただくことを目的として、今後開催する説明会において「特価COM・プレゼントキャンペーン・カード」をお配りいたします。今回は、当社ホームページ(IR投資家情報)よりキャンペーンサイトにアクセスしていただき、会場でお配りしたカードに記載されているシリアルNO.を入力していただきますと、その場で当選賞品がわかります。

ぜひ、当社の会社説明会にご来場いただき、キャンペーンにも併せてご参加ください。



4. 経営陣から

このたび、平成18年3月期業績を発表させて頂きました。上場から1年が経過し、計画を上回る好業績で終わることができ、ほっとしております。

今年度も、継続した業績成長を実現するため、ECサイト運営に重要な“集客・マーケティング”の機能の強化により、“売れるECサイト”を提供してまいります。また、相次ぐ企業の情報漏えい問題がマスコミでも取り上げられており、セキュリティビジネスは拡大すると予想しており、当社が開発したセキュリティソリューション「L2Blocker」の販路拡大を行ってまいります。前年度同様、プロダクト系S Iサービスを中核とした営業活動に注力し、継続的な業績拡大を目指して企業価値を高め、投資家の皆様の期待に応えてまいりたいと思います。

今後ともソフトクリエイトを宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 CEO 林 勝